

JPM チャイナ・ファンド『愛称：昇龍』

J.P.Morgan
Asset Management

格付：

C-3



CLUB ALCHEMISTA

主に中国・香港の株式に投資を行う投資信託です。

属性

投資信託

対象

中国・香港の株式等

利回り

5.11%

概要

中国・香港の株式を実質的な主要投資対象として運用を行い、信託財産の中長期的な成長をはかる。ただし、中国の経済成長の恩恵を享受する台湾、韓国およびシンガポールの株式にもファンドの30%まで投資可能。12月決算。

リスク

流動リスク:	N/A
価格リスク:	基準価格
為替リスク:	CNY ほか
信用リスク:	N/A
その他:	N/A

※N/Aは、該当なし (not applicable)

運用元： JPMorgan・アセット・マネジメント株式会社

Web: <https://www.jpmanasset.co.jp>

所在地： 東京都千代田区丸の内二丁目7番3号
東京ビルディング

Summary

中国圏を含むアジア株式市場については、10月前半は中国で良好な経済指標が発表されたことや中国人民銀行が一定の条件を満たした銀行の預金準備率を引き下げたこと、更にはIMF（国際通貨基金）が世界の景気見通しを上方修正したことなどを背景に大きく上昇したものの、後半は米長期金利の上昇を背景に、資金流出が懸念されたことなどから、軟調な展開となった。中国市場では、5年に1度の共産党大会が開催された中、個人消費関連銘柄への物色が進み、ヘルスケア、医薬、保険などのセクターが上昇。香港市場では、中国人民銀行による一定の条件を満たした銀行の預金準備率引き下げを受け、大手銀行などを中心に高値を付ける場面が見られた一方、マカオのカジノ収入が予想ほどの増加とならなかったことなどから、カジノ銘柄は下落する結果となった。今後、短期的には北朝鮮情勢に左右される局面が続くと見られるものの、中長期的には中国圏を含むアジア株式市場の先行きは底堅いと見込まれるため、引き続き消費関連銘柄、特にサービス業銘柄や、テクノロジー、工場自動化関連銘柄等に注目していくとしている。よって、本投資信託のリターン面を「C-」、リスクを「3」と判断する。

設定来の基準価額（税引前分配金再投資）の推移



Note: 本資料は格付情報提供を目的としており、投資勧誘を目的としているものではありません。資料に掲載されている情報の作成には万全を期していますが、当該情報の完全性を保証するものではありません。本資料から得た情報を利用したことにより発生するいかなる費用又は損害等の一切について責任を負いません。

Copyright (C) 2017 Club ALCHEMISTA